

千葉県立美術館実施計画に基づく外部評価について

令和 7 年 7 月 9 日
千葉県環境生活部スポーツ・文化局
文化振興課

令和 6 年度に策定した「千葉県立美術館実施計画」に基づき、令和 7 年度から外部評価を実施する。

1 外部評価実施の経緯

博物館法においては、博物館の運営にあたり評価及びその結果に基づいた運営の改善が努力義務とされており、千葉県では平成 18 年度から 29 年度にかけて、美術館・博物館の外部評価を行ってきた。

しかし、県立美術館・博物館は、「公の施設の見直し方針」（平成 28 年 7 月）を受け、各館の在り方について検討を始めたため、「外部評価」の結果を中・長期的視点での経営戦略等に活かすことができなくなった。このため、「外部評価」は平成 30 年度から一旦休止としている。

その後、美術館は今後の運営指針となる「千葉県立美術館活性化基本構想」を定め、令和 6 年度にはこの基本構想を実現するため、今後 4 年間の事業計画である「千葉県立美術館実施計画」を策定した。その中で外部評価の実施についても明記しており、評価により職員意識の向上を図り、次年度以降の「改善」を柔軟に反映させるため令和 7 年度から外部評価を実施する。

2 外部評価の手法（案）

実施計画の総合指標及び重点事業の評価指標の達成状況について、評価を行う。

1. 自己点検

美術館は、「外部評価用自己点検票」を用いて自己点検を行う。

総合指標：当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

重点事業：実施スケジュールに記載された実施項目について、当該年度に実施する内容を年度当初に記載し、年度終了時に実績を記入する。

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

実績と判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

2. 有識者による評価

外部有識者（千葉県立美術館アドバイザリー会議委員）は「有識者評価票」を用いて自己点検結果を評価する。

3. 今後の活動方針の検討

美術館は、「評価総括票」に自己点検結果及び有識者による評価を取りまとめ、今後の活動方針を定める。

4. 千葉県博物館協議会への意見聴取

美術館は、外部評価結果（「評価総括票」）を千葉県博物館協議会に示し、意見を聴取する。

1. 判定

項目	指標	現状	R7年度自己点検				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
1 県立美術館の認知度	「知っている」と回答した県民の割合	40.1% (R6)							50%	R10年度文化芸術への意識に関するアンケート調査を予定
2 県立美術館の利用満足度	「満足している」と回答した人の割合	43.7% (R4)							60%	R10年度世論調査を予定
3 年間入館者数	3年間の入館者数の平均	99,164人 (R3~5平均)	105,000人				110,000人	115,000人	120,000人	

2. 自己点検

※達成度・判定

1. 達成度： 実績値÷目標値×100

2. 判定：

達成度（数値達成度のめやす）		判定
達成	達成度≧100%	A
ほぼ達成	達成度≧80%	B
やや不十分	達成度≧50%	C
不十分	達成度<50%	D

3. 総合判定：「判定のA～Dを4～1に置換したものの和」÷項目数 をA～Dに置換。
小数点以下は四捨五入。

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業1）（案）

重点事業1 地域の特色を活かしたアートプロジェクト、他分野とアートの融合、世界の潮流を捉えたアート

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
千葉みなと地域のイベントへの参加、近隣施設等との連携	<イベント参加> ○9月 千葉みなとさんばしまつり ○11月 千葉みなと大漁まつり（館内施設の活用を図る） ○12月 千葉みなと千夜市夜 ○12月 千葉みなとクリスマスマーケット <近隣施設等との連携> ○地域飲食店との連携（新規） ○「没後50年 高島野十郎展」に係る「満月夏まつり」に関する近隣施設との連携（新規） ○サラ・ファン・ライ展「撮る、物語る」に係るMUMA（ミュージアムマーケット）に関する近隣施設との連携	
写真など新しい分野を紹介する展覧会	○写真家サラ・ファン・ライ等を紹介する展示を開催する。 サラ・ファン・ライ展「撮る、物語る」 会期：11月15日～1月18日	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
地域の特色を活かしたアートプロジェクト、他分野とアートの融合、世界の潮流を捉えたアート	千葉みなと地域・地元企業等との連携企画	5回	6回				7回	8回	8回	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業2）（案）

重点事業2 房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
コレクション展示コーナーのスポット導入	○「コレクション・ハイライト」展の開催による県民ニーズの調査 会期：6月11日～7月13日	
企画展・特別展と合わせたコレクション関連展示の実施	○「民藝展」関連展示 千葉会場限定企画「民藝運動前夜―我孫子時代の柳宗悦 朝鮮美術と白樺派」 会期：4月22日～6月29日 ギャラリートーク、スライドトークの実施 ○「没後50年 高島野十郎展」関連展示「千葉に生きた写実の画家―椿貞雄」 会期：7月18日～9月28日 ギャラリートークの実施 ○サラ・ファン・ライ展「撮る、物語る」関連展示（特別展出品作品と並列してコレクションを出展予定）会期：11月15日～1月18日 ギャラリートークの実施 ○「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」関連展示「県展史の人々―千葉県立美術館のはじまり物語（仮）」会期：令和8年1月27日～4月5日 ギャラリートーク、スライドトークの実施	
我孫子と民藝運動、神谷紀雄に関する調査・研究	○「民藝展」の開催のための調査・研究 ○「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」の開催に向けた調査・研究、図録への論考掲載	
千葉ゆかりのアーティスト・コロニー、大高正人に関する調査・研究	○コロニー展開催に向けた調査・研究 会期：令和8年4月～6月 ○大高正人展開催に向けた調査・研究 会期：令和9年1月～3月	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化	図録への論考掲載	—	1件				2件	2件	2件	
	コレクションに関する体験プログラム数	—	6件				7件	8件	10件	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業3）（案）

重点事業3 国内外のアーティストとの交流の場の創出

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
ドイツからのアーティスト受入 オープンスタジオ ワークショップ	○アーティストの受入（10月23日～12月21日） ○成果展の開催（12月2日～14日） ○交流会、オープンスタジオ、ギャラリートーク、ワークショップの実施	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
国内外のアーティストとの交流の場の創出	国際交流事業に係るイベント参加者等の交流人数	—	50人				70人	80人	100人	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業4）（案）

重点事業4 アーティストやボランティアと子どもたちの出会いの場・創作体験の機会を創出

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
夏休み期間、子どもたちにアトリエ開放	○「ぐるぐる？アート夏やすみ」期間中のアトリエ開放（新規） 期間：7月19日～8月31日	
アーティストによるワークショップ	○「ぐるぐる？アート夏やすみ」や「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」におけるアーティストによるワークショップの実施	
ボランティアの関わり検討	○ミュージアム・サポーターによる建物探検ツアーやガイドの試行（新規） ○大学生サポーターの継続的な募集（新規）	
小学生向けサポートプログラムの検討	○「ぐるぐる？アート夏やすみ」の実施を通じた次年度以降のプログラムの検討	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
アーティストやボランティアと子どもたちの出会いの場・創作体験の機会を創出	夏休みアトリエ開放への参加者（参加した子どもの人数）	—	30人				50人	70人	100人	
	夏休みアトリエ開放への参加者（ボランティアの人数）	—	10人				20人	25人	30人	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業5）（案）

重点事業5 多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
展覧会の理解を深める体験プログラムの実施	○「民藝展」関連体験プログラム 記念講演会を含む計5回 ○「没後50年 高島野十郎展」関連体験プログラム 館長によるファミリーツアーを含む計10回 ○サラ・ファン・ライ展「撮る、物語る」関連体験プログラム アーティストトークを含む計2回 ○「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」関連体験プログラム 記念講演会を含む計3回	
アーティスト・ワークショップの実施	【再掲】 ○「ぐるぐる？アート夏やすみ」や「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」におけるアーティストによるワークショップの実施	
子ども向けアート体験コーナーの検討・設置	○「ぐるぐる？アート夏やすみ」におけるアート体験コーナーの設置 ○企画展のテーマに合わせた常設ワークショップの設置	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム	展示関連ワークショップ・講演会等の体験プログラムの開催数	年15回	16回				17回	18回	20回	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業6）（案）

重点事業6 学校教育との連携による美術教育の拡充

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
学校と美術館を結ぶバスの試験的な導入（新規）	○「没後50年 高島野十郎展」と関連した、柏市立の小学校を対象とした鑑賞授業の実施 ○ほか2校での企画展等と関連した鑑賞授業の実施 ○事前出前授業を通じた事業の展開方法の検討	
学校向けプログラムの開発・学校との協議	○教育現場への聞き取りや提案を通じた学校団体向けのプログラムの開発	
教員向け研修コンテンツの検討・学校との協議	○教育現場への聞き取りや提案を通じた学校団体向けの美術館活用方法や展覧会を紹介するプログラムの作成	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
学校教育との連携による美術教育の拡充	学校団体の利用数	5校 (R4～6年度平均)	8校				10校	12校	15校	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業7）（案）

重点事業7 資料のデジタルアーカイブ化、SNS等を活用した積極的な情報発信

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
デジタルアーカイブ化	○浅井忠関連300件・コレクション100選関連100件のデジタルアーカイブ化	
デジタルコンテンツの公開	○コレクション100選のデジタルコンテンツの作成及び公開	
ホームページリニューアル作業	○コレクション紹介ページにおけるリニューアル作業	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
資料のデジタルアーカイブ化、SNS等を活用した積極的な情報発信	解説・高精細画像等を付したデジタル化・公開点数	—	300点				600点	900点	1,300点	
	デジタルコンテンツのアクセス数	—	1,250件				2,500件	3,750件	5,000件	

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業8）（案）

重点事業8 様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
平易な解説文など展示方法の改善・合理的配慮	○合理的配慮の視点での解説文や照明の課題の洗い出し ○改善の実施	
ガイドシステムの導入検討	○他館の状況確認や専門業者への聞き取り ○令和8年度試験導入に向けた検討	
施設整備の検討とあわせて館内サインの多言語化の検討・実施	○他館の状況確認や専門業者への聞き取り ○優先度の高いサインにおける多言語化	
デジタルコンテンツへの英語解説付与	○「デジタルアーカイブ第二期」での英語解説の付与	
触れる彫刻展などのワークショップの実施	○触れる彫刻展でのワークショップの実施 ○令和8年度視覚・聴覚障害を含むインクルーシヴワークショップの内容検討	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備	障害者等との交流プログラム開催回数	—	1回				2回	3回	4回	

3. 自己点検

令和 7 年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業 9）（案）

重点事業 9 館全体の施設整備に向けた検討、収蔵環境の整備と作品保全

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
施設整備の検討・調整	○不具合のある設備の洗い出し ○令和8年度設計に向けた準備	
パークとの回遊性向上のための設計・施工	○令和 6 年度に業者から受けた提案に基づく関係部署とのすり合わせ ○優先順位の高い箇所の施工 ○次年度以降の施工に向けた設計	
収蔵庫・展示室の設備改善	○劣化が生じている空調設備の令和 8 年度設計に向けた準備	
作品管理要領の見直し	○作品管理徹底のための作品状態の記録方法及び作品管理要領の見直し	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
館全体の施設整備に向けた検討、収蔵環境の整備と作品保全	県立美術館の利用満足度「満足している」と回答した人の割合	43.7% (R4)							60%	R10年度世論調査を予定

3. 自己点検

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業10）（案）

重点事業10 アメニティ設備の整備・充実による魅力的な美術館空間の創出

1. 実施内容および実績

R7実施項目	R7実施内容	R7実績
憩いの空間の整備	○無料エリアにおける常設体験コーナーの設置	
レストラン・ショップの設備整備	○レストラン再導入に向けた設備整備 ○ショップの什器や設備の点検及び更新	
コレクション関連グッズの開発、 レストランメニューの充実	○コレクション関連グッズの開発 ※令和6年度末にレストラン閉店。再導入時にメニューの充実を検討。	

2. 評価指標の判定

項目	指標	現状	達成度・判定※（R7年度）				目標値			備考
			目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
アメニティ設備の整備・充実による魅力的な美術館空間の創出	県立美術館の利用満足度「満足している」と回答した人の割合	43.7% (R4)							60%	R10年度世論調査を予定

3. 自己点検

令和 7 年度 千葉県立美術館実施計画 外部評価票（案）

委員名

総評

総合指標

重点事業 1 地域の特色を活かしたアートプロジェクト、他分野とアートの融合、世界の潮流を捉えたアート

重点事業 2 房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化

重点事業 3 国内外のアーティストとの交流の場の創出

重点事業 4 アーティストやボランティアと子どもたちの出会いの場・創作体験の機会を創出

重点事業 5 多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム

重点事業 6 学校教育との連携による美術教育の拡充

重点事業 7 資料のデジタルアーカイブ化、SNS等を活用した積極的な情報発信

重点事業 8 様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備

重点事業 9 館全体の施設整備に向けた検討、収蔵環境の整備と作品保全

重点事業10 アメニティ設備の整備・充実による魅力的な美術館空間の創出

令和 7 年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（総合指標）（案）

総合指標

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定	
1 県立美術館の認知度					
2 県立美術館の利用満足度					
3 年間入館者数	105,000人				

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業1）（案）

重点事業1 地域の特色を活かしたアートプロジェクト、他分野とアートの融合、
世界の潮流を捉えたアート

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
千葉みなと地域・地元企業等との連携企画	6回					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業2）（案）

重点事業2 房総の美術をはじめとするコレクションの紹介と研究の深化

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
図録への論考掲載	1件					
コレクションに関する体験プログラム数	6件					

2. 自己点検

--

3. 有識者による評価

--

4. 今後の活動方針

--

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業3）（案）

重点事業3 国内外のアーティストとの交流の場の創出

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
国際交流事業に係るイベント参加者等の 交流人数	50人					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業4）（案）

重点事業4 アーティストやボランティアと子どもたちの出会いの場・創作体験の機会を創出

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
夏休みアトリエ開放への参加者 （参加した子どもの人数）	30人					
夏休みアトリエ開放への参加者 （ボランティアの人数）	10人					

2. 自己点検

--

3. 有識者による評価

--

4. 今後の活動方針

--

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業5）（案）

重点事業5 多様なニーズや経験の違いに応じた体験プログラム

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
展示関連ワークショップ・講演会等の体験プログラムの開催数	16回					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業6）（案）

重点事業6 学校教育との連携による美術教育の拡充

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
学校団体の利用数	8校					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業7）（案）

重点事業7 資料のデジタルアーカイブ化、SNS等を活用した積極的な情報発信

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
解説・高精細画像等を付したデジタル化・公開点数	300点					
デジタルコンテンツのアクセス数	1,250件					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業8）（案）

重点事業8 様々な特性を持つ人々への対応、あらゆる人々にやさしい環境の整備

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
障害者等との交流プログラム開催回数	1回					

2. 自己点検

--

3. 有識者による評価

--

4. 今後の活動方針

--

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業9）（案）

重点事業9 館全体の施設整備に向けた検討、収蔵環境の整備と作品保全

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
県立美術館の利用満足度「満足している」と回答した人の割合						

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立美術館実施計画 評価総括票（重点事業10）（案）

重点事業10 アメニティ設備の整備・充実による魅力的な美術館空間の創出

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
県立美術館の利用満足度「満足している」と回答した人の割合						

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針